

全国エリアマネジメントネットワーク

第 10 回通常総会

(第 10 期：2025 年 7 月 1 日～2026 年 6 月 30 日)

日時：2025 年 9 月 4 日

11 時 15 分～12 時 00 分

場所：グラングリーン大阪コングレスクエア

総会 次第

1. 開会

2. 定足数確認

3. 決議事項

- 1) 第 1 号議案 第 9 期事業報告について
- 2) 第 2 号議案 第 10 期事業計画について

4. その他

5. 閉会

<添付書類>

- 第 9 期事業報告
- 第 10 期事業計画

全国エリアマネジメントネットワーク
第 9 期事業報告書
(2024 年 7 月 1 日～2025 年 6 月 30 日)

(1) 活動の総括

第 9 期の開始にあたり、役員期間の 2 カ年通じての活動方針を幹事会において議論し定めた上で、会員に周知を行った。またこの活動方針を踏まえ、幹事会において、活動テーマ毎のワーキングを組織し、各幹事メンバーが主体的に事業の企画、運営を行う体制とした。それにより、数多くの事業が展開され、多くの人々が全国エリマネの事業に参加することとなった。

個別の事業では、エリアマネジメント研究交流会は第 5 回目を開催し、エリアマネジメントに関する研究や調査の報告の場として確立され、報告内容も質の高いものとなってきた。

人材育成のプログラムでは、プレイスメイキング講座とエリマネマインド養成講座を一体のプログラムとして実施し、より包括的なプログラムとして実施する事が出来た。

また、第 9 期から立ち上げた視察・研修会も開催し、エリアマネジメントの現場で実践者同士が学び合うプログラムが実施できた。

更に、これまで国土交通省と実施してきた官民連携まちづくり DAY を改組し、エリアマネジメント政策対話というエリアマネジメントのこれからの政策制度の立案に向けた対話の場を立ち上げ、都市再生法を中心としたエリアマネジメントに関する政策制度の課題や方向性について議論を深めた。そして、これらの議論の成果は国土交通省の懇談会への議論にも繋がったことは大きな成果である。

海外連携についても IDA との相互入会を実現し、今後の更なる連携の足がかりを構築すると共に、海外での議論・事例を紹介する報告会も開催した。

幹事会ワーキングでは、エリアマネジメントの職能確立やテキスト等の作成に向けた議論、リサーチを行い、第 10 期に向けた議論を深めている。

第 9 期はこれまで以上の数多くの事業を展開し、延べ人数で約 1,000 名の方が全国エリマネの活動に参加した。会員数は正会員 126 名から第 9 期終了時点で 140 名と近年では最大の増加となった。

(2) 会員の状況

種別		第 8 期会員数 (2024.6.30 時点)	第 9 期会員数 (2025.6.30 時点)	増加数
正 会 員	エリアマネジメント団体（企業会員中心）	4	4	0
	エリアマネジメント団体（地域中心）	48	50	2
	法人	25	28	3
	個人	49	58	9
正会員小計		126	140	14
一般賛助会員		15	18	3
オブザーバー		30	30	0
合計		171	188	17
その他（海外連携会員等）			1	1

※除名処分⇒エリマネ_1、個人_1

(3) 総会

年次総会を以下のとおり開催した。

日時	2024年8月30日(金) 13時～13時45分
場所	TOKYO NODE
参加者数	89名 (会場40/オンライン44/事務局5)
議決承認事項	第1号議案 第8期事業報告について 第2号議案 役員改選について 第2号議案 第8期事業計画について

(4) 幹事会

幹事会構成は幹事14名(内、会長1名、副会長3名)及び監査役2名である。

幹事会を5回開催した。(対面とオンラインのハイブリッド開催)その他、活動方針(8p)に基づき、5つの幹事会ワーキングを立ち上げ、それぞれ複数回の議論を行った。ワーキングは以下の通り。

ワーキング1: コンセプトワーキング

ワーキング2: 職能・人材育成ワーキング

ワーキング3: 教材・テキストワーキング

ワーキング4: 組織強化ワーキング

ワーキング5: 総会・イベントワーキング

(5) 個別事業活動

①情報交換・連携【交わる】

①-1: エリアマネジメントに関する情報発信(メール及びSNS)

メールニュース	26回配信
その他ご案内	18回配信

①-2: 海外連携・交流

IDAとの連携、交流の機会を深めると共に、世界各地のIDAマネージャーとのネットワークを構築。以下のイベントに参加した。また、後述するように、報告会を開催し、会員への情報提供を行った。

IDA 総会(シアトル) 2024年9月11日～13日	参加者数: 8名
World Towns Leadership Summit(ケープタウン) 2025年3月24日～28日	参加者数: 2名

また、これまでの交流を通じて、今年度からIDAと全国エリアマネジメントネットワークが相互入会をする事となり、これまで以上にIDAの情報へのアクセスが強まることを期待している。

②パブリックリレーション【広める】

②-1: エリアマネジメントシンポジウム

エリアマネジメントについて、広く一般に普及することを目的に、各地のエリアマネジメント活動を紹介し、意見交換するシンポジウムを以下のとおり開催した。本シンポジウムは京都大学経営管理大学院と連携し開催した。

＜全国エリアマネジメントネットワーク エリアマネジメントシンポジウム 2024 in 虎ノ門

：“エリアマネジメント”の意味を考える＞

日時	2024年8月30日（金） 14時30分～17時30分
場所	TOKYO NODE/ZOOM ウェビナー
参加者数	241名（シンポジウムのみ集計/登壇・事務局関係者含む） 内訳⇒ 会場:72/オンライン:151/登壇者 14/事務局 4

※当日は台風の影響で交通機関の乱れがあり、全国各地から来られなかった方が多く、会場参加が少なくなりました。また、それに伴い参加費返金対応等、収支も影響を受けました。

③エリアマネジメント活動の新たな展開の議論【深める】

③-1：エリアネコミュニティ（研究会）

会員の自発的なテーマ設定等による活動展開を行う研究会として、以下3つの研究会を立ち上げ活動を行っている。

＜スマートシティ・DX研究会＞

参加団体	札幌駅前通まちづくり株式会社、大丸有まちづくり協議会、竹芝エリアマネジメント、渋谷エリアマネジメント、高輪ゲートウェイエリアマネジメント、We Love 天神協議会、三井不動産株式会社、不動産協会、国交省都市局
活動経緯	2回開催

＜グリーン×エリアマネジメント研究会＞

参加団体	日本橋浜町エリアマネジメント、大丸有まちづくり協議会、錦二丁目まちづくり協議会、森ビル株式会社、福岡孝則
活動経緯	0回開催

＜ナイトタイムエコノミー研究会＞

参加団体	札幌駅前通まちづくり株式会社、大丸有エリアマネジメント協会、渋谷駅前エリアマネジメント、まちづくり福井株式会社、ミナミまち育てネットワーク、博多まちづくり推進協議会、We Love 天神協議会、森ビル、齋藤貴弘
活動経緯	0回開催

※研究会は3カ年を活動単位としており、一旦第9期で各研究会を閉じ、必要に応じて、改めて活動する事とする。

③-2：エリアマネジメント政策対話

昨年度まで国交省と行ってきた【官民連携まちづくり DAYS】を発展的に終了させ、第9期から、エリアネの実務者と行政がエリアマネジメントの課題や政策制度について議論する【エリアマネジメント政策対話】を立ち上げ、2回開催した。

＜エリアマネジメント政策対話 vol.1＞

日時	2024年11月29日（金）13時～16時20分
場所	YAU STUDIO+DMO 東京丸の内

参加者数	83名（別途、事務局関係5名）
実施概要	エリアマネジメントの政策制度を議論する為に、4つのグループに分かれて議論し、現状と課題を共有した G1：公共空間活用（26名） G2：財源確保策（22名） G3：屋外広告（18名） G4：スマートシティ・DX（17名）

<エリアマネジメント政策対話 vol.2>

日時	2025年2月18日（火）14時～18時
場所	DMO 東京丸の内
参加者数	38名（別途、事務局関係2名）
実施概要	Vol.1 で出た課題を整理し、どのような政策制度の方向性が必要なのかについてエリマネ団体、地方自治体、国でのラウンドテーブル形式で議論 （ラウンドテーブル参加者22名）

③-3：エリアマネジメント研究交流会

エリアマネジメントに関する研究や実践を報告し研究者と実務者の対話、交流する場を開催。UDC イニシアチブと実行委員会を組成し開催。第5回は15本の発表があり、DMO 東京丸の内に発表者及び共同研究者、実行委員会メンバーが集まり、発表、配信を行った。6つのアワードを選出し記念品を贈呈。

研究発表会終了後は、交流会を同会場にて実施し、発表時には聞けなかった感想や情報交換を行った。

日時	2025年6月28日（土）10時30分～18時
場所	DMO 東京丸の内
参加者数	122名（内、発表者：17名/発表者関係者：20名/Web視聴：61名/実行委員：13名/事務局：4名/学生サポート：7名）

③-4：エリマネウェビナー

エリアマネジメントの動向等をオンラインによって学ぶ機会として開催。第9期は2回開催。

<第10回>

日時	2025年3月4日（火）18時～19時30分
場所	ZOOM ウェビナー
参加者数	39名（聴講者34名、登壇者3名、聞き手2名）
内容	地域の個性・文化を発信する飲食店とエリアマネジメント

<第11回>

日時	2025年6月26日（木）17時～18時30分
場所	ZOOM ウェビナー
参加者数	128名（聴講者124名、登壇者3名、聞き手1名）
内容	成熟社会の共感都市再生ビジョン

③-5：海外連携報告等

IDA 等海外との交流や議論の機会を会員に報告する機会として、報告会等を開催。

<IDA 報告会>

日時	2024年12月6日(金) 16時~18時
場所	DMO 東京丸の内/ZOOM ウェビナー
参加者数	35名(現地聴講者7名、オンライン聴講者21名、登壇者7名)
内容	IDA 総会の様子や開催地のシアトルのBIA (Business Improvement Area) の仕組み・事例やまちの様子、ポートランドのまちの様子等について報告

<World Towns Leadership Summit 報告会>

日時	2025年5月26日(月) 16時~17時30分
場所	DMO 東京丸の内/ZOOM ウェビナー
参加者数	26名(現地聴講者5名、オンライン聴講者19名、登壇者2名)
内容	サミットで話し合われたプレスマネジメント(エリアマネジメント)組織のあり方、役割について報告すると共に、開催地のケープタウンにおけるBIDの事例を報告

<Tim Tompkins 講演会&ラウンドテーブル> ※日本都市計画学会と共催

日時	2024年10月15日(火) 13時~16時
場所	3x3 Lab Future/ZOOM ウェビナー
参加者数	第1部：65名(現地14名、オンライン聴講者43名、コーディネーター3名、事務局5名) 第2部：17名(現地9名、コーディネーター3名、事務局5名)
内容	タイムズスクエア BID のCEO を長年務められ、現在 NY 大の教授である Tim 氏の来日に合わせ、タイムズスクエアのこれまでの講演頂くと共に、公共空間のガバナンスをテーマに日本側のエリマネ実務者や行政職員と共に議論

※日本都市計画学会と共催

④エリマネ関連リサーチ【深める】

第9期では、幹事会ワーキングの中で、エリアマネジメントの年表作成やこれまでの全国エリマネ内での情報蓄積の整理や教材・テキスト作成等の準備を行った。

⑤ノウハウ蓄積・人材育成・活動の顕彰【高める】

エリアマネジメントに従事する実務者の育成、能力向上を目的に、エリアマネジメントに係わる実務者同士のディスカッションやケーススタディ、現地視察等を行う研修事業。今年度もこれまで実施してきている講習会として【プレスマイキング講座】と【エリマネマインド養成講座】を実施した。また、第9期から新たにエリアマネジメントの現場の視察と意見交換を行う【全国エリマネ視察&研修会】も立ち上げ、第1回として長崎市で開催した。

⑤-1：エリマネ講習会

これまで行ってきた、【プレスマイキング講座】と第8期にパイロット版として行った、【エリマネマインド養成講座】を繋げて2DAYSの講習会として構成し、開催。1日目にエリマネマインド養成講座を開催し、エリマネに

取り組む姿勢、マインドを学び、2日目に具体的な事業活動としてのプレイスメイキングを学ぶ構成とした。

＜エリマネマインド養成講座&プレイスメイキング講座＞

日時	2025年6月19日(木)～20日(金)
場所	DMO 東京丸の内
参加者数	35名(受講生:21名、メンター・講師:11名、コーディネーター:2名、事務局1名)

⑤-2: 全国エリマネ視察・研修会

エリアマネジメントの現場に、全国各地のエリアマネジメント実践者で訪問し、視察や意見交換を通じて交流や学び合いを進めるプログラムとして開催。初回は長崎駅前を訪れ、周辺のまちづくりの視察含め、2日間に渡って開催した。

＜全国エリマネ視察・研修会 Vol.1 長崎＞

日時	2025年6月12日(木)～13日(金)
場所	長崎駅周辺、長崎スタジアムシティ、長崎市中心市街地
参加者数	68名(他地区からの参加者:39名、長崎関係者:29名)

⑤-3: 全国エリマネ若手実務者会議「AMU35」

第9期においては活動展開が出来ておらず、幹事メンバーでの議論のみの活動に留まった。第10期に向けて活動を企画中。(2025年7月26日にメンバーミーティングを開催)

■ 第9期の事業活動一覧

2024年	7月	プレイスメイキング講座(昨期事業として実施) AMU35 フィールドワーク(昨期)
	8月	総会&シンポジウム@虎ノ門
	9月	IDA 総会参加ツアー
	10月	Tim Tompkins 氏講演会&ラウンドテーブル
	11月	エリアマネジメント政策対話 vol1
	12月	IDA 総会報告会
2025年	1月	
	2月	エリアマネジメント政策対話 vol2
	3月	エリマネウェビナー-vol.10 WTLS 参加
	4月	
	5月	WTLS 報告会
	6月	エリマネ視察・研修会 エリマネ講座(エリマネマインド&プレイスメイキング) エリマネウェビナー-vol.11 エリアマネジメント研究交流会

①これまでのエリアマネジメントの振り返りとこれからのエリアマネジメントのコンセプトの検討

- ・エリアマネジメントと呼ばれる取組、手法がまちづくりに取り入れられるようになってから約 20 年が経過し、各地で実践が進み、その取組や主体も広がってきている。そのよう蓄積が進んでいるエリアマネジメントについて改めて振り返ると共に、社会情勢の変化に応じた今後のエリアマネジメントについて考えていきたい。

②エリアマネジメントに関する職能の確立と人材育成

- ・各地で展開されるエリアマネジメントの実践に応じて、そこに係わる人々の裾野も広がりを見せているが、その役割、職能について明確に確立されているとは言えない状況でもある。そのような中で改めてエリアマネジメントに係わる人々、主体の役割を明確にし、その職能の確立とその育成を進めていきたい。

③エリアマネジメントに関する各種文献資料・事例のデータベース化及びテキストの作成

- ・エリアマネジメントの各種取組、研究が進んでいる中で、エリアマネジメントの活動企画、実践、組織化といった実践的かつ、段階に応じた教材が十分に整理されていない現状でもある。各地の事例や調査、研究資料の収集、データベース化を進めると共に、その蓄積をベースにエリアマネジメントの教材となる資料作成を進めていきたい。

④エリアマネジメントに関する法制度の検証と提案

- ・エリアマネジメントが発展してきたこの 20 年で、都市再生特別措置法を中心に様々な制度、支援策が生まれてきている。これらはエリアマネジメントの推進に大きな支えとなっている物であるが、改めてその使い勝手や課題等を議論しながら、都市をより良くするためのエリアマネジメントの推進を支える制度提案を進めていきたい。

⑤全国エリアマネジメントネットワークの組織強化・会員拡大・情報発信の充実

- ・全国エリアマネジメントネットワークが発足し 10 年が経過しようとしている。これまで、エリアマネジメントの普及に一定の役割を果たしてきたが、今後の更なるエリアマネジメントの発展に向けて、ネットワークの役割、あり方について再考し、それに基づいた組織体制や情報発信の強化を進めながら会員の拡大も進めていきたい。

⑥エリアマネジメントの国際間連携の推進

- ・カナダ、アメリカで始まった BID（Business Improvement District）の取組は世界各地に広がり、日本のエリアマネジメントも BID をベンチマークしながら進んできている。今後とも世界各地の取組を学び、日本に取り入れていくと共に、日本のエリアマネジメントの特徴も世界に発信していく活動を進めていきたい。

⑦エリアマネジメントの DX 及びスマートシティの推進

- ・人中心の Society5.0 に向けて、エリアマネジメントの取組がより一般化していく中で、情報技術を活用して様々な取組を高度化していく DX は必須の取組になる。エリアマネジメントの実務の中で DX が進み、各地でスマートシティ化が進んでいくよう、その為の学びや実践の場を展開していきたい。

全国エリアマネジメントネットワーク会長
出口 敦

全国エリアマネジメントネットワーク
第 10 期事業計画・予算
(2025 年 7 月 1 日～2026 年 6 月 30 日)

1. 第 10 期の主な活動内容

第 9 期と第 10 期の活動方針として幹事会で定めた以下の内容について幹事会ワーキングを組織して事業活動の企画、運営を行う。

①これまでのエリアマネジメントの振り返りとこれからのエリアマネジメントのコンセプトの検討

・エリアマネジメントと呼ばれる取組、手法がまちづくりに取り入れられるようになってから約 20 年が経過し、各地で実践が進み、その取組や主体も広がってきている。そのような蓄積が進んでいるエリアマネジメントについて改めて振り返ると共に、社会情勢の変化に応じた今後のエリアマネジメントについて考えていきたい。

②エリアマネジメントに関する職能の確立と人材育成

・各地で展開されるエリアマネジメントの実践に応じて、そこに係わる人々の裾野も広がりを見せているが、その役割、職能について明確に確立されているとは言えない状況でもある。そのような中で改めてエリアマネジメントに係わる人々、主体の役割を明確にし、その職能の確立とその育成を進めていきたい。

③エリアマネジメントに関する各種文献資料・事例のデータベース化及びテキストの作成

・エリアマネジメントの各種取組、研究が進んでいる中で、エリアマネジメントの取組を進めていく上での明確なテキストと呼べるものが無い現状でもある。各地で取り組まれている事例や調査、研究資料の収集、データベース化を進めると共に、その蓄積をベースにエリアマネジメントのテキストとなるような資料の作成を進めていきたい。

④エリアマネジメントに関する法制度の検証と提案

・エリアマネジメントが発展してきたこの 20 年で、都市再生特別措置法を中心に様々な制度、支援策が生まれてきている。これらはエリアマネジメントの推進に大きな支えとなっている物であるが、改めてその使い勝手や課題等を議論しながら、都市をより良くするためのエリアマネジメントの推進を支える制度提案を進めていきたい。

⑤全国エリアマネジメントネットワークの組織強化・会員拡大・情報発信の充実

・全国エリアマネジメントネットワークが発足し 10 年が経過しようとしている。これまで、エリアマネジメントの普及に一定の役割を果たしてきたが、今後の更なるエリアマネジメントの発展に向けて、ネットワークの役割、あり方について再考し、それに基づいた組織体制や情報発信の強化を進めながら会員の拡大も進めていきたい。

⑥エリアマネジメントの国際間連携の推進

・カナダ、アメリカで始まった BID (Business Improvement District) の取組は世界各地に広がり、日本のエリアマネジメントも BID をベンチマークしながら進んできている。今後とも世界各地の取組を学び、日本に取り入れていくと共に、日本のエリアマネジメントの特徴も世界に発信していく活動を進めていきたい。

⑦エリアマネジメントの DX 及びスマートシティの推進

・人中心の Society5.0 に向けて、エリアマネジメントの取組がより一般化していく中で、情報技術を活用して

様々な取組を高度化していく DX は必須の取組になる。エリアマネジメントの実務の中で DX が進み、各地でスマートシティ化が進んでいくよう、その為の学びや実践の場を展開していきたい。

2. 事業内容

① エリアマネジメントのこれからのコンセプト検討【ワーキング 1】

○ワーキング 1 での議論の深掘り

→第 9 期で行ったエリアマネジメントの振り返りを踏まえ、「エリアマネジメント 3.0」のあり方について会員も巻き込んだリサーチや議論を実施。

② エリアマネジメントに関する職能の確立と人材育成【ワーキング 2】

○全国エリマネ若手実務者会議「AMU35」

→エリマネ団体の若手実務者の情報共有や学びの場としての活動を展開。

○エリマネ講座

→エリアマネジメントについて様々な観点から学べる場を開催。以下のような内容の講座を実施。

a. エリマネマインド養成講座

・エリマネを実践していくために必要なマインド、スキルセットを学ぶプログラム。

・経験豊富なエリマネ実践者がメンター的にインプットと相談、ディスカッションを組み合わせた構成。

b. エリマネ実務者研修講座

・これまでに行ってきた、【プレイスメイキング講座】に加え、エリマネの実務に必要なテーマを設定し講座を開催。また、エリマネに関する制度や事例について体系的に学べるプログラムの実施を検討。

○エリマネ実務者合宿（視察・研修会）

→エリアマネジメントの現場に各地の実践者が集まり、視察や議論を通じて学び合うプログラムを実施。

○海外研修

→IDA のサミット参加等、世界各地の BID マネージャーとの交流の機会をサポートするプログラムの実施を検討。

○エリアマネジメント研究交流会

→エリアマネジメントに関する研究や実践内容を報告する交流会の実施とそれを通じたエリマネ人材のすそ野拡大を進める。更に発表内容を梗概集として発信。（UDC イニシアチブと実行委員会を組成）

③ エリアマネジメントに関する各種文献資料・事例のデータベース化及びテキストの作成【ワーキング 3】

○エリアマネジメントのテキスト作成

→エリアマネジメントのテキスト作成や事例のデータベース化に向けて必要なりサーチや議論、整理を行う。また、幹事会のワーキングのみならず、会員を巻き込んだ議論を深める会を実施。

○エリアマネジメントアンケート

→エリアマネジメント団体とその活動の実態を把握する定点調査を実施。その他、特定のテーマを設定した追加アンケートも実施。

④ エリアマネジメントに関する法制度の検証と提案【ワーキング 1】

○エリアマネジメント政策対話

→エリアマネジメントの推進に向けた必要な政策、制度について、国土交通省の議論の進展を踏まえ、必

要な対話を国、自治体とエリマネ団体で行う。

⑤全国エリアマネジメントネットワークの組織強化・会員拡大・情報発信の充実【ワーキング 4・5】

○次期体制等検討ワーキング

→本ネットワークが設立され 10 年が経過し、この間の社会情勢の変化や事業活動の展開を踏まえると共に、今後の更なる会員サービスの拡充や事務局体制及びガバナンスの強化等を図っていくために、今後の全国エリマネの組織体制（法人化等）、事務局体制や会費の考え方等について幹事会ワーキングにおいて検討を行う。更に、新たな組織体制等の考え方について、会員への発信、意見交換を進める。

○ネットワーク会員間の情報交換・議論

→ニュースレター発行。

→会員間でのオンライン等を通じたコミュニケーションツール・機会の検討を進める。

○シンポジウム開催

→会員間の“交流”や“学び合い”の場としてのシンポジウムを開催し会員拡大にも繋げる。

○エリマネウェビナー

→オンラインによって、エリアマネジメント活動に資するインプットを得る場を開催。各地のエリアマネジメントの取組みの他、エリアマネジメント活動を取り巻く社会経済の状況、海外の BID の状況など、多角的に学べる機会を検討。

○広報・情報発信体制の充実

→HP やオンラインツールの運用、イベントレポートの作成と配信等、英語版 WEB 対応等。

⑥エリアマネジメントの国際間連携の推進

○IDA 等海外のネットワーク団体や BID との情報交換

→IDA の総会参加等を通じて、海外の団体と情報交換を行い、日本のエリマネに必要な知見を得る。

○アジアのエリアマネジメントネットワーク活動

→情報共有・発信、人材育成、学びの場の検討を進める。

○海外向け情報発信の検討・コンテンツ作成等

→英語版の日本のエリマネ紹介コンテンツの作成を進める。

⑦エリアマネジメントの DX 及びスマートシティの推進

○スマートシティ・DX 研究会

→これまで活動してきているスマートシティ・DX 研究会を継続させ、第 2 期として広く会員を募りながらエリアマネジメントにおけるスマートシティ・DX 化のあり方について議論を進める。

⑧その他

○幹事会運営

→幹事会での議論の活発化や幹事の役割分担を明確にして各種事業推進を図る。

○エリマネコミュニティ（研究会）立ち上げ支援

→エリマネに関する特定の関心領域について、エリマネ団体の実務者によるコミュニティを組織し、議論、活動を行う。有志によって立ち上げ、有志メンバーによる自立的な運営とし、活動支援金を拠出する。

→また、研究会での議論の公開、普及活動も関係団体等と連携しながら進めていく。

参考：全国エリアマネジメントネットワーク全体の活動方針（設立時に設定）

○エリアマネジメント団体のネットワーク・コミュニティの醸成【交わる】

全国のエリアマネジメント団体の交流の場を提供することによって、エリアマネジメントに係る人々のコミュニティを醸成すると共に、交わることによる学びあいを進め、今後のエリアマネジメント活動の活性化を支える。

○エリアマネジメント活動の深化・行政との対話・連携の場の構築【深める】

エリアマネジメント活動の更なる深化をさせていくために、調査研究活動を行うと共に、行政との対話の場を設け、各種活動を進めるにあたって必要となる官民連携を促進させる。

○エリアマネジメントの社会的な認知向上【広める】

エリアマネジメントと言う活動やそれを担う団体・人々を社会に発信し、その活動の意義や効果について、認識を高めて頂く活動を進める。

○エリアマネジメントに関する各種情報提供やエリアマネジメント団体の強化【支える】

エリアマネジメント活動の展開を図っていくためのノウハウの蓄積やエリアマネジメント団体の運営等に関する情報整理等を行い、活動に必要な団体運営の強化につながる活動を進める。

○エリアマネジメントのプロフェッショナルとしての専門性・実務能力向上の機会【高める】

エリアマネジメントの実践者がエリアの様々な活動を牽引していく上での人材育成・キャパシティビルディングにつながる活動を進めます。